

平成30年7月豪雨 遠賀川豪雨災害

出水期間：平成30年7月5日～7日



▼遠賀川河川事務所付近(平成30年7月6日17時頃)

▲遠賀川河川事務所付近(平常時)



西日本豪雨2週間

遠賀川一時決壊危機

5観測所 堤防「限界」水位超す

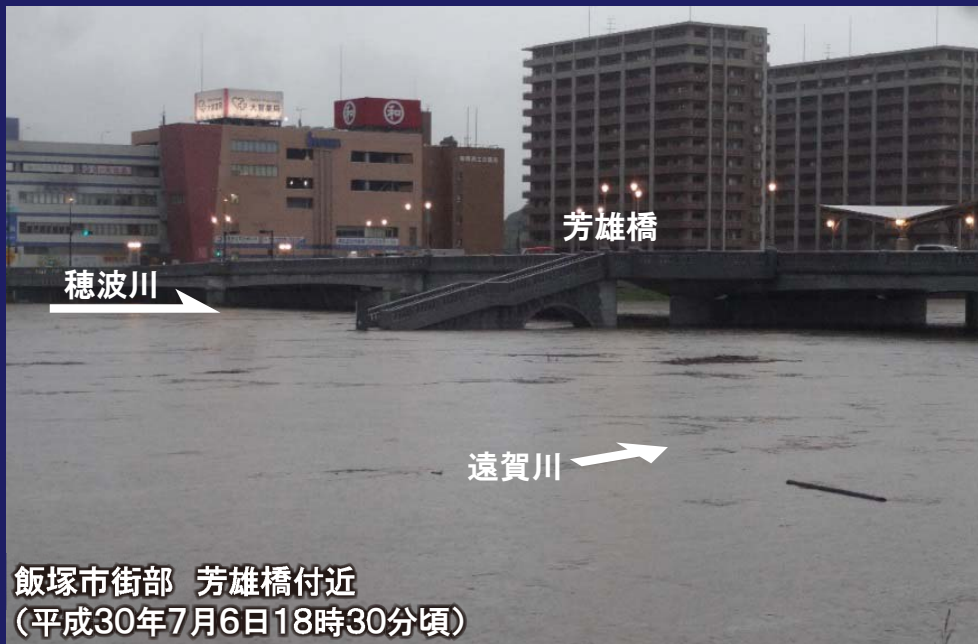
計画高水位を超えた遠賀川沿いで作業する人たち(遠賀川河川事務所提供)＝6日午後、福岡県直方市

西日本豪雨で九州に及ぶる1級河川本系のうち、遠賀川と筑後川、六角川、菊池川と本系の一部の水位観測所、堤防が耐えられる限界水位をまず「計画高水位(ハイウォーターレベル)を超えた観測所」が増えた観測所

【6、29日関連記事】西日本豪雨で九州に及ぶる1級河川本系のうち、遠賀川と筑後川、六角川、菊池川と本系の一部の水位観測所、堤防が耐えられる限界水位をまず「計画高水位(ハイウォーターレベル)を超えた観測所」が増えた観測所

遠賀川は本流の福岡県

平成30年7月21日新報 西7日 日本新



飯塚市街部 芳雄橋付近 (平成30年7月6日18時30分頃)

国土交通省 九州地方整備局
遠賀川河川事務所

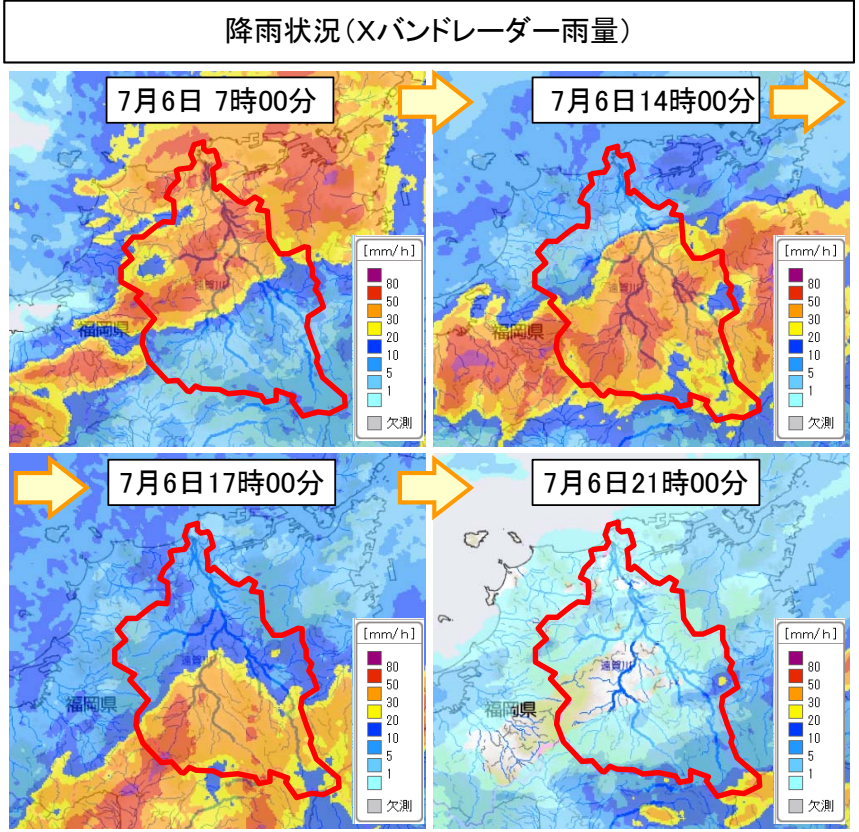
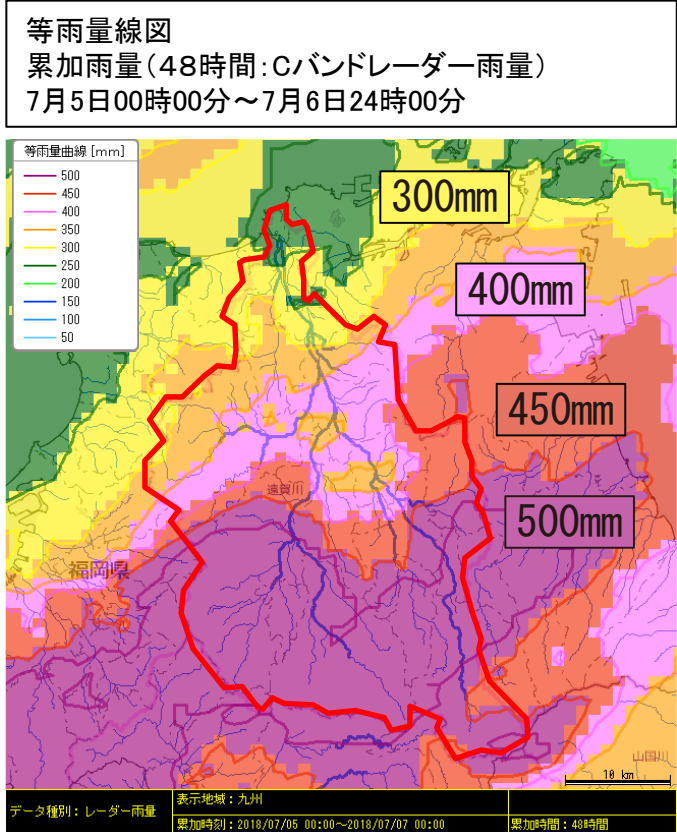
〒822-0013 福岡県直方市溝堀1丁目1-1
TEL 0949-22-1830 / FAX 0949-22-2859
ホームページアドレス <http://www.qsr.mlit.go.jp/onga/>
e-mailアドレス onga@qsr.mlit.go.jp

気象・降雨概要

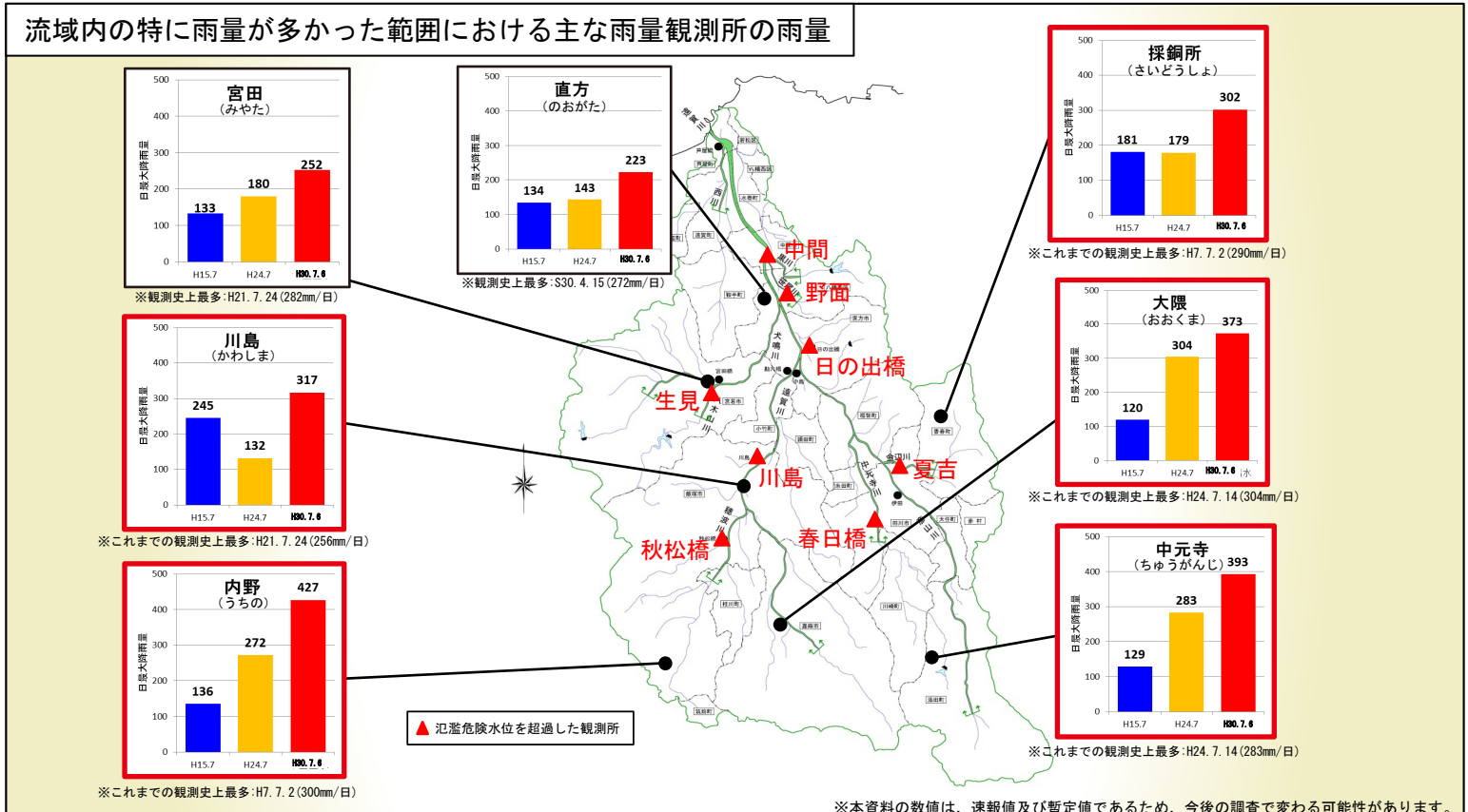
福岡県では、7月5日は昼前から局地的に激しい雨が降り、既に台風7号の大雨で地盤が緩んでいた地域などに大雨警報や土砂災害警戒情報を発表した。

6日は、明け方から非常に激しい雨が降り、6日夜まで継続し、5日0時から6日17時までの降水量は、多いところで400ミリ以上となった。このため、6日17時10分に数十年に一度の降雨量となる大雨が予想されたため大雨特別警報が発表された。

遠賀川流域では、降り始めの7月5日6時からの雨量は多いところで総雨量580mmを記録（内野雨量観測所）。今回の降雨における中元寺雨量観測所の総雨量538mmは観測開始以降の最大総雨量を記録した。



近年の主な出水時(H15、H24)の降雨と比較して、流域内の多くの雨量観測所で観測史上最多日雨量を観測した。



出水概要

今回の出水では梅雨前線の活発な活動により、遠賀川水系の5つの観測所において、洪水を安全に流すことの出来る水位である計画高水位を越え、10の観測所において観測史上最高水位を記録した。

遠賀川河川事務所管内の観測史上最高水位を記録した水位観測所

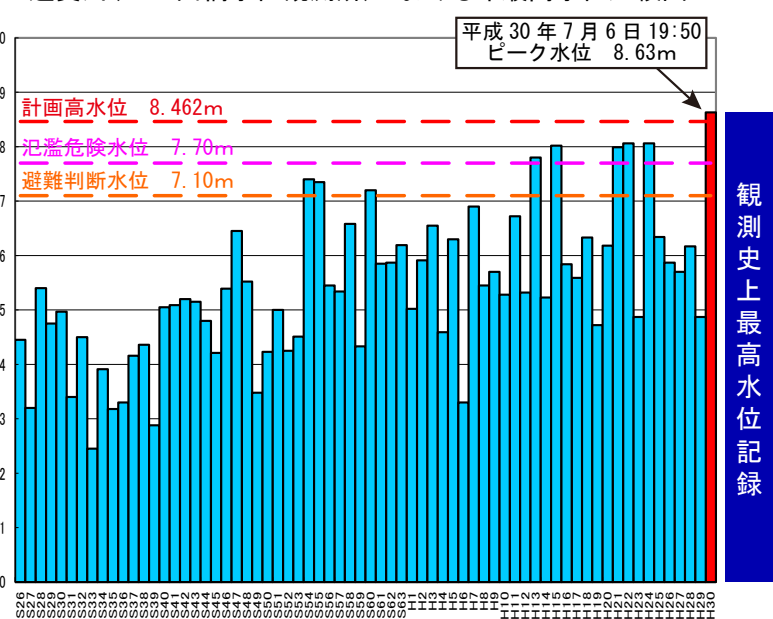
水系名	河川名	観測所		今回最高水位(m)		今までの観測史上最高水位(m)	
		観測所名	所在地	水位	時刻	水位	地点
遠賀川	遠賀川	川島(かわしま)	飯塚市幸袋	6.16	7月6日 18:40	5.92	H15.7.19
	遠賀川	勤六橋(かんろくばし)	直方市溝堀	7.47	7月6日 16:50	7.30	H24.7.14
	遠賀川	日の出橋(ひのでばし)	直方市津田町	8.63	7月6日 19:50	8.17	H24.7.14
	遠賀川	唐熊(からくま)	北九州市八幡西区唐熊	7.85	7月6日 19:50	7.58	H21.7.24
	遠賀川	中間(なかま)	中間市中間	5.52	7月6日 20:20	5.37	S28.6.28
	彦山川	赤池(あかいけ)	田川郡福智町	6.07	7月6日 18:50	6.02	H24.7.14
	彦山川	中島(なかしま)	直方市溝堀	7.93	7月6日 19:20	7.42	H24.7.14
	西川	木月(きづき)	鞍手郡鞍手町大字木月	2.53	7月6日 9:00	2.43	H21.7.24
	笹尾川	野面(のぶ)	北九州市八幡西区大字野面	3.13	7月6日 9:50	3.00	H21.7.24
	黒川	石園(いしぞの)	北九州市八幡西区大字香月	3.25	7月6日 12:30	3.07	H22.7.14

※赤字は今回の洪水により計画高水位を超過したもの。

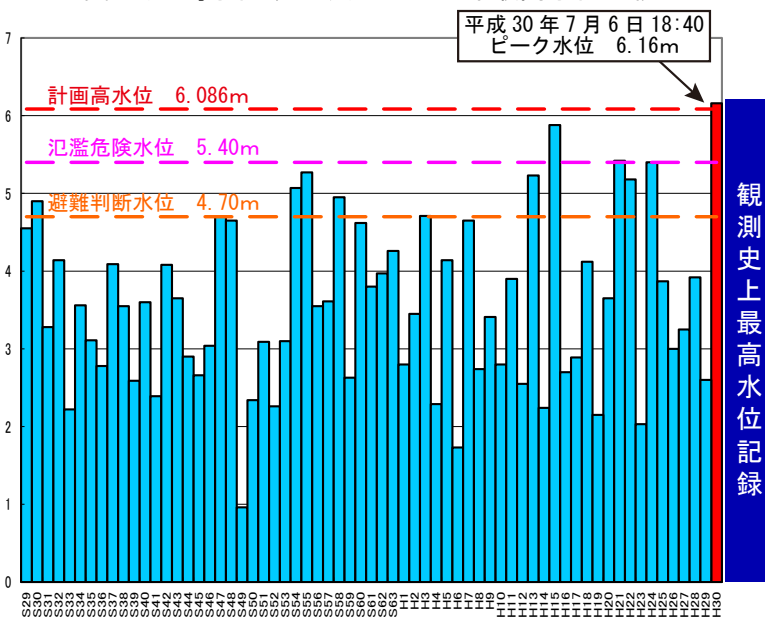
日の出橋水位観測所(直方市)において、約3時間もの間計画高水位を超過し、川島水位観測所(飯塚市)においても約1時間もの間、計画高水位を超過した。

観測開始以降の年最高水位の比較

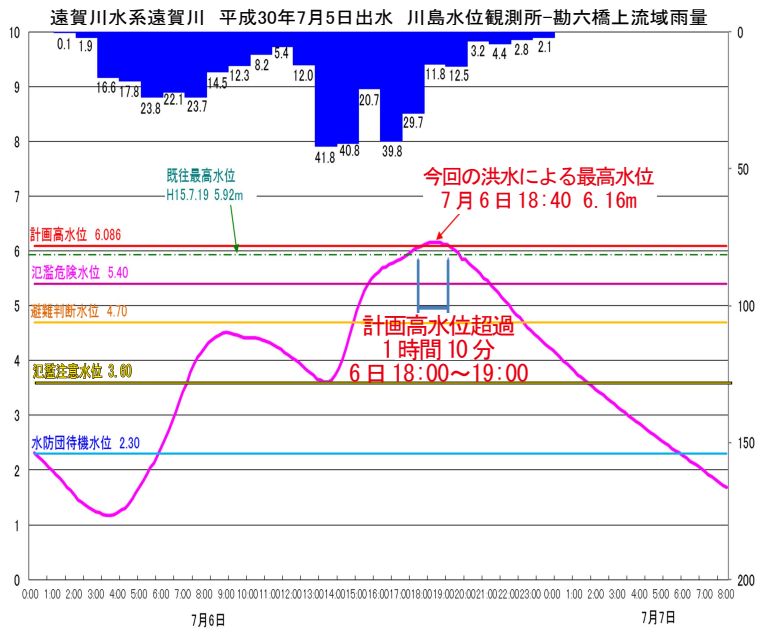
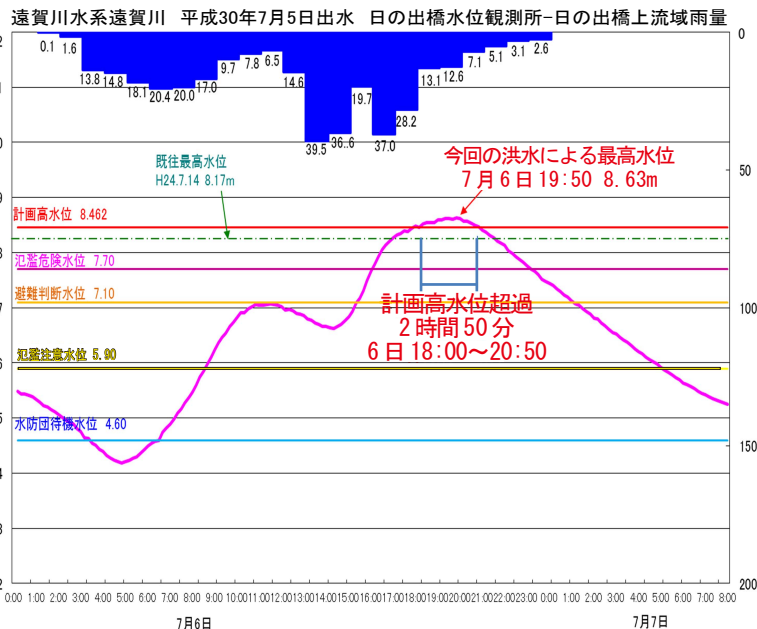
遠賀川(日の出橋水位観測所)における年最高水位比較図



遠賀川(川島水位観測所)における年最高水位比較図

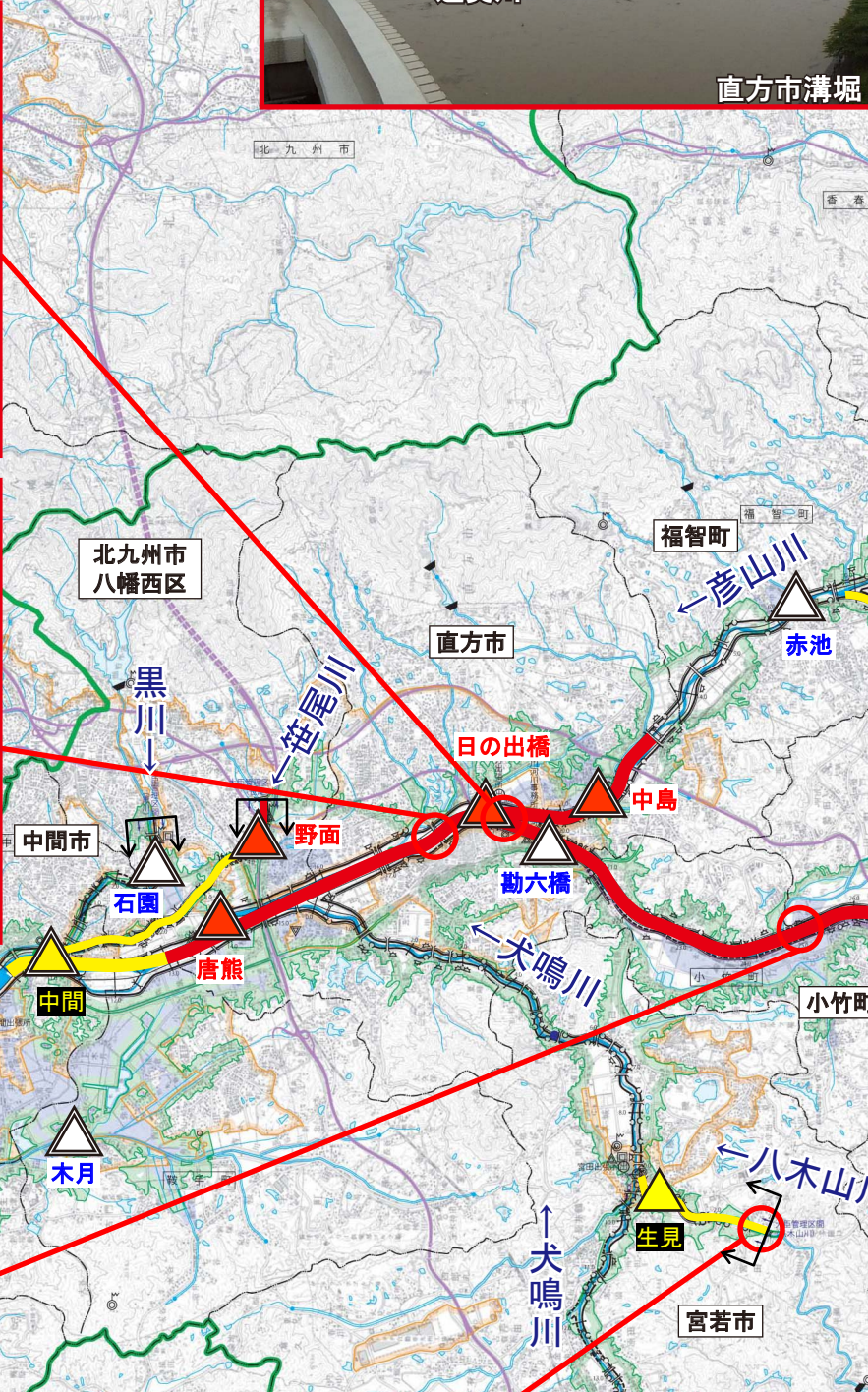


実績降雨と河川水位の比較(平成30年7月6日~7日)



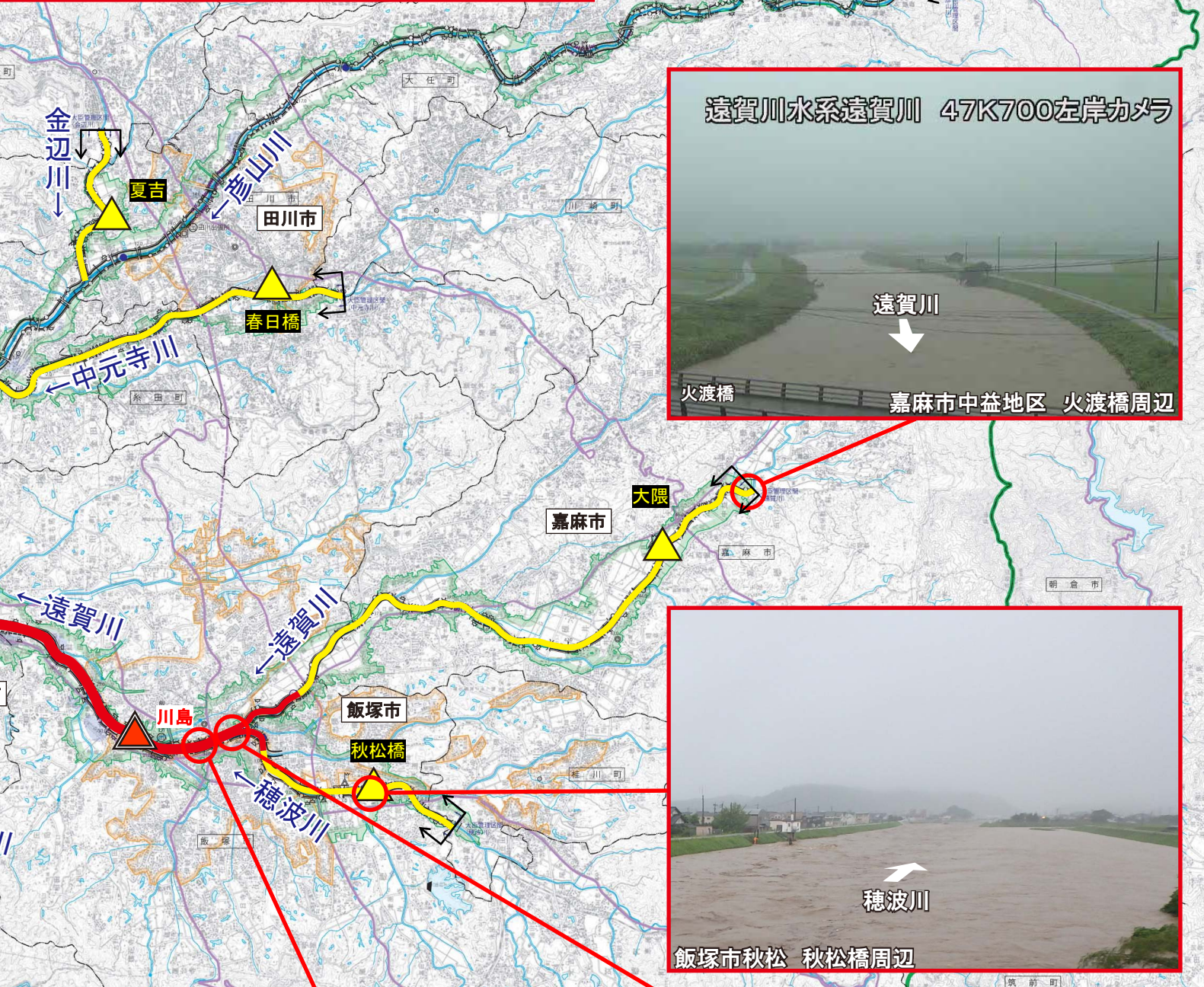
出水状況(河川水位状況)

国管理区間では洪水を安全に流すことの出来る水位である計画高水位を5つの水位観測所で越えたものの、堤防決壊等、大規模な被災はなかった。





- 凡例**
- ▲ — 計画高水位超過の水位観測所と区間
 - ▲ — 氾濫危険水位超過の水位観測所と区間
 - △ 観測史上最高水位を記録した水位観測所
 - ↔ 国管理区間

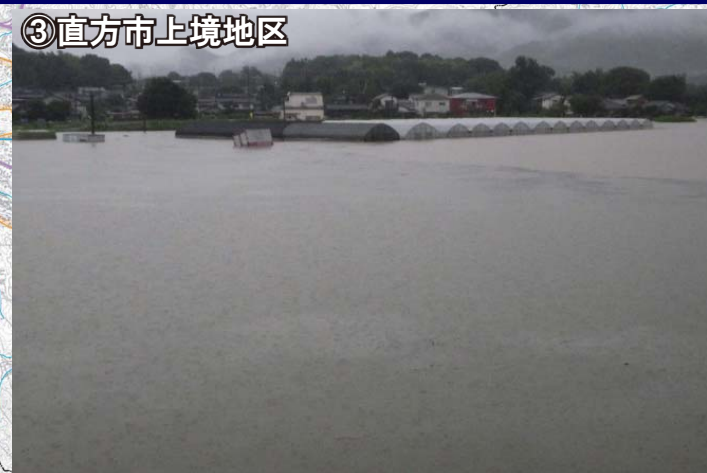


出水状況(浸水被害状況)

国管理河川では越水等による家屋浸水被害は無かったものの、河川水位が高い状況が続いたため、支川等が氾濫し、多数の家屋浸水被害が発生した。



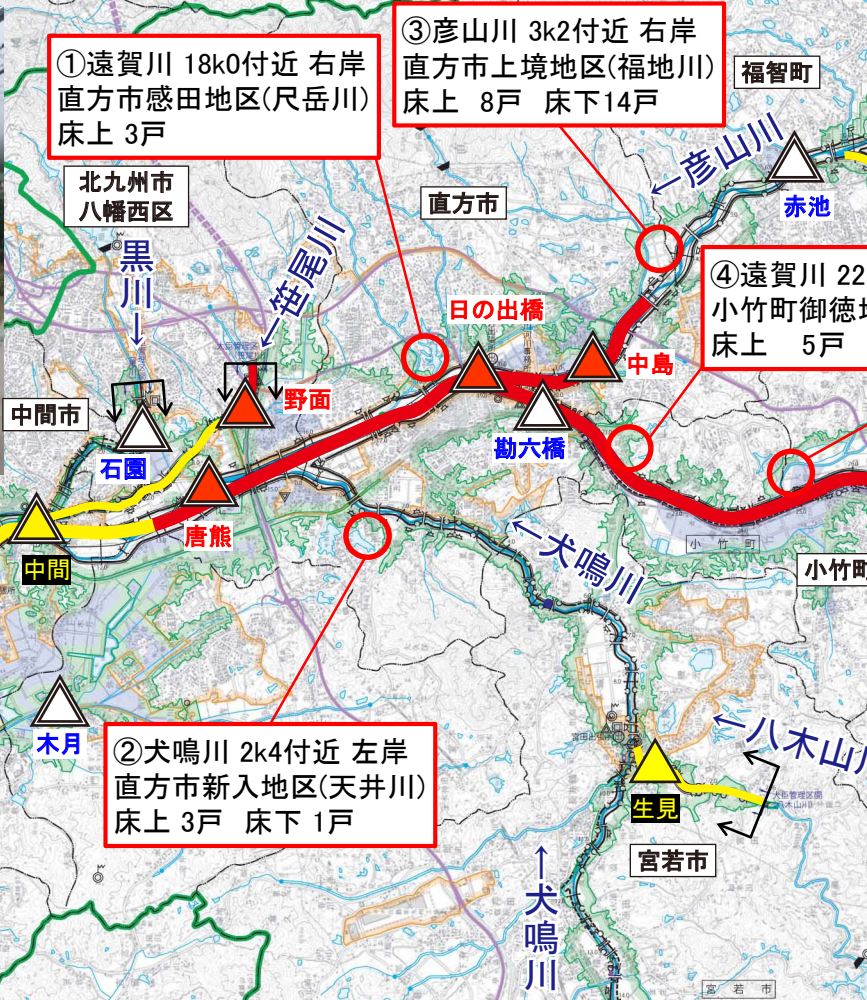
①直方市感田地区 感田電停付近



③直方市上境地区



②直方市新入地区 新入大橋周辺



⑦飯塚市柳橋地区 庄司川周辺



⑦飯塚市幸袋地区 庄司川周辺

④小竹町御徳地区



凡例

- ▲ 計画高水位超過の水位観測所と区間
- ▲ 氾濫危険水位超過の水位観測所と区間
- △ 観測史上最高水位を記録した水位観測所
- ↔ 国管理区間



遠賀川流域における浸水被害
 平成30年7月洪水: 床上・床下浸水835戸(調査中)
 ※平成30年8月9日時点

※本資料の数値は、速報値及び暫定値であるため、今後の調査で変わる可能性があります。

事業効果

遠賀川(飯塚地区)床上浸水対策特別緊急事業の効果

遠賀川上流の飯塚・穂波地区では、平成15年7月洪水で浸水家屋数約4,500戸の甚大な被害が発生。平成16年度より「床上浸水対策特別緊急事業」により集中的に河川整備を実施。河川整備の実施により、今回の出水では平成15年7月洪水の約1.6倍の降雨であったが、**浸水被害は大幅に軽減された。**



遠賀川(直方地区)床上浸水対策特別緊急事業の効果

平成17年度から直方市街部の床上浸水対策特別緊急事業に着手し、北小川排水機場の設置等を実施。今回の出水では、多数の家屋浸水被害が発生した平成15年7月洪水を約1.2倍上回る降雨を記録したが、**当該地域では家屋の浸水被害は確認されていない。**

